

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	抗原変異するウイルス感染症に有効なワクチン研究開発 (同上)
研究期間	2017 年 4 月 ～ 2020 年 3 月
研究機関名	国立感染症研究所 免疫部
研究責任者職氏名	部長 高橋宜聖

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名を記入してください。

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

インフルエンザやノロウイルス等のウイルスには様々な種類があり、また季節毎に少しずつ変異していきます。そのため、変異ウイルスにも有効性が損なわれないワクチン開発が望まれています。しかし、ウイルスタンパクの中には、変異することができない保存領域が存在しており、この部分を認識する B リンパ球を活性化し抗体タンパクを誘導できるか否かが変異ウイルスに有効なワクチン開発の鍵となります。私たちは、ウイルスタンパクの保存領域を認識する B リンパ球と抗体タンパク質の性質を調べ、変異ウイルスにも有効性が損なわれない新しいワクチン開発に繋がたいと考えています。

変異ウイルスによってワクチン有効性の妨げとなるウイルス感染症（インフルエンザやノロウイルス等）に対し、新しいワクチン開発に繋がる研究となることが期待されます。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：全血（規格外）

献血血液等の情報：なし

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

ご提供頂いた血液から、ウイルスタンパクの保存領域を認識する B リンパ球を分離します。この B リンパ球のワクチン抗原に対する抗体産生能と、産生される抗体タンパクのウイルス抗原に対する結合性を解析します。これら解析を 1 セットとして、新しくデザインした複数のワクチン抗原を評価することにより、ウイルスタンパクの保存領域に結合する抗体を誘導可能なワクチン抗原の開発を目指します。

5 献血血液等の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記 5 を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

本研究に関する問い合わせ先

所属	国立感染症研究所免疫部
担当者	高橋 宜聖
電話	03-4582-2710
Mail	ytakahas@niid.go.jp